

すべては町民のために



就任あいさつ

横芝光町長 齊藤 隆

私は、去る4月18日に執行されました横芝光町長選挙におきまして、「すべて

は町民のために」をキャッチフレーズに掲げ、多くの町民の皆様から温かく、また力強いご支援を賜り、町政運営の重責を担わせていただくことになりました。改めて町長としての職責の重みを痛感し、その責任の重大さに身の引き締まる思いであります。現在、各課の所管事項や懸案事項について説明を受けており、差し迫った課題が山積していることを改めて実感したところでありますが、これからの4年間、初心を忘れることなく、より良い町づくり邁進する決意でござ

います。

さて、現在の日本を取り巻く環境は、地方分権の理念に基づき、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を図るため、国及び地方が分担すべき役割を明確にし、地方の自主性及び自立性を高めることによって、地方公共団体が自らの判断と責任において行政運営することを促進するとして、国と地方の関係も大幅に見直されております。

芝光が、将来に希望を持っていない町になってしまわないか、私は、町議会議員として町政に携わってきた中で、多くの問題や課題が山積している現状を目の当たりにし、このままではいけないという危機感を強く感じていました。また、選挙戦を通じて多くの方がまちづくりに対する再チャレンジへの期待と焦燥感を募らせておられることも痛感いたしました。

これからは多くの町民の皆様の見解を伺い、議論を重ねいち早く方向性を決めていく事が大切であり、町民の皆様と行政が一体となった透明性のある「安心・安全なまちづくり」が今、最も必要であると考え、五本の柱を公約に掲げさせていただきます。

1 点目は、町財政の健全化であります。

財政の無駄を無くし早期健全化を図り、情報公開を積極的に行い、町民との信頼関係を深めていきたいと考えています。そのために